

令和2年度 競技団体〈理事長・事務局長・強化担当者・国体監督等〉・ スポーツ医・科学サポート事業(指導者育成事業) 合同研修会 報告

9月25日(金)いわて県民情報交流センター(アイーナ)にて、岩手県体育協会と岩手県との共催で標記合同研修会が開催されました。



富士大学経済学部准教授
内城寛子氏

研修1では、指導者育成事業として「ジュニア選手の発掘・育成について」と題して、パネルディスカッションが行われました。コーディネーターに富士大学経済学部准教授内城寛子氏、パネラーとして岩手県山岳・スポーツクライミング協会強化責任者の畠山晃氏、岩手県ラグビーフットボール協会強化・普及育成委員の千葉啓志氏が参加し、活発な議論が行われました。



岩手県山岳・スポーツクライミング協会
畠山晃氏



岩手県ラグビーフットボール協会
千葉啓志氏

講義では、スポーツ・インテグリティ推進事業として「指導現場のパワハラを劇的に減らす方法」と題して、フリーライターの島沢優子氏よりご講義をいただきました。



島沢優子氏

研修2では、指導者育成事業として「女性アスリートの指導について」と題して東北文化学園大学教授・医学博士の古林俊晃氏よりご指導をいただきました。



東北文化学園大学 教授・医学博士
古林俊晃氏

どの時間も参加者からの質疑も活発に行われ、充実した合同研修会となりました。

